

あーばんとーく

平成20年4月号(第128号)

●須磨北町地区で、まちづくり構想決定、市へ提案(P.1)
●まちづくり会館この1年(P.2・3) ●「神戸らしい眺望景観10選を訪ねて」保久良神社殿の眺め、まちづくり会館展示のお知らせほか(P.4)

あーばんとーくの感想をおよせ下さい!

発行: こうべまちづくり会館

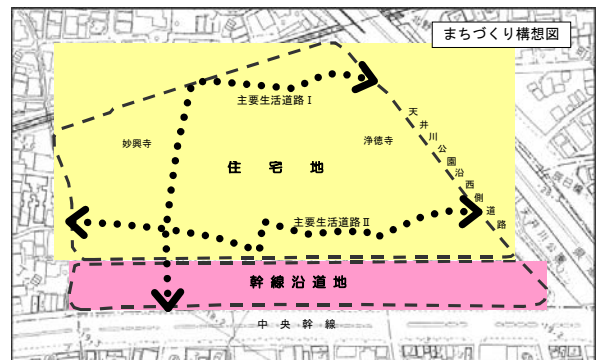
<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

須磨北町地区で

まちづくり構想決定、市へ提案

須磨北町地区は、山陽電鉄月見山駅の南東に位置する約4haの地区で、歴史は古く、畿内最西端の集落で、大正期頃には町役場、芝居小屋などのある須磨町の中心地でした。

今年3月には、約400m南にJR新駅(須磨海浜公園駅)も開業し、地区の幹線道路に面するところは、マンション等の開発圧力が高く、一方、一歩内側に入ると、不整形な細街路の住宅密集地となります。



平成15年に、中央幹線に面する敷地での高層マンションの建設計画を契機に、「須磨北町地区まちづくり協議会」が設立され、平成17年に地区計画が策定されました。



←まちづくり構想案検証のための「まち歩き」

まちづくり構想検討の→ワークショップ



←まちづくり構想提案と説明

＜まちづくりの基本目標＞
歴史を活かし、未来につなぐ
“安全、安心で明るいまち”
～成熟したまち・北町～

- ＜まちづくりの基本方針＞
1. 住み良いまち
 - ① 幹線沿道地と背後の住宅地の調和
 - ② 生活道路(細街路)整備のためのルールづくりと整備
 - ③ 建替え困難地の解消
 2. 美しく、明るいまち
 - ④ 北町らしいまちなみ、景観の保全、創造
 - ⑤ 環境に配慮したまちづくりの推進
 - ⑥ コミュニティ(ふれあい、おつきあい、見守り等)豊かなまち
 3. 安全、安心なまち
 - ⑦ 住宅の耐震化促進など防災対策の推進
 - ⑧ 防犯対策などの推進
 - ⑨ 交通安全対策などの推進
 - ⑩ 人にやさしいまちづくりの推進

その後、北町を安全、安心で、明るく、住みやすいまちにするため、より視野を拡げて、「まちづくり構想」の策定に取り組み、平成20年1月に決定しました。

また、1月には「まちづくり条例」に基づき、まちづくり協議会認定を受け、3月25日に「須磨北町地区まちづくり構想」を市へ提案しました。

今後は、3つの基本方針のもと、具体的な10の活動内容を、住民アンケート等による優先順位に基づき、順次実施します。

当面は、細街路解消に向け、2項道路の中心線確定や、防犯面等からまちの灯り運動、耐震への意識啓発等の活動を行っていく予定です。

(須磨区まちづくり推進部まちづくり課)

まちづくり会館この1年

こうべまちづくり会館では、地元の「まちづくり協議会」などへの専門家派遣や、誰もが学べるまちづくり学校を開催するなど、「住民主体のまちづくり」をサポートしてきました。19年度は、それらに加え、10校の小学校総合学習への協力などの事業を行ってきました。



◆専門家派遣等

住民主体のまちづくりや、震災からの復興を支援するために、「専門家の派遣」や「まちづくり協議会への活動助成」を行ってきました。19年度は、派遣46件、活動助成33地区となっています。

一連の活動内容は年に1度のまちづくりコンサルタント派遣成果報告会で発表されます。派遣した20社近いコンサルタントが前年の活動報告を次から次へと釣瓶打ちの迫真トークで展開。各地区における様々な事例を知ることができます。

今年も19年度の「コンサルタント派遣成果報告会」を5月15日(木)を開催します(詳細は、4ページをご覧ください)。

◆小学校の総合学習への協力

18年度から、小学校3・4年生を対象とした総合学習の中で、「まち発見」をテーマに「スライドショー」と「まち歩き」の授業を行っています。この取り組みは、神戸市建設局が進めている「道の学校」の一環として、子供達が「まち」への理解をより多角的に深めることを目的としています。

学校毎に地域固有のテーマを掘り下げて紹介し、まちの魅力を子ども達に伝えています。

19年度は全10校をこうべまちづくりセンターで担当しました。

実施校 ①鈴蘭台小学校 ②板宿小学校 ③桜が丘小学校
④長田南小学校 ⑤丸山小学校 ⑥西郷小学校 ⑦東灘小学校
⑧西落合小学校 ⑨美野丘小学校 ⑩大池小学校

◆こうべまちづくり学校の開催

「こうべまちづくり学校」は、市民が主役の安全で安心なまちづくりを進めるために“協働と参画のまちづくり”について学び考える場となることを目指しています。まちづくりに対する関心を高め、まちづくりをより多くの方が理解し、地域のまちづくりを担えるようになるために、幅広い関心に対応できるように総合的でわかりやすい内容としています。

カリキュラムには、「基礎講座」「専修講座」「特別講座」があります。「専修講座」は、各分野に分かれて、まちづくりについてより深く学ぶため、各コースごとに小グループでの共同作業や、実際にまちに出て観察や調査をする等、特色ある運営を行っています。

そして、「基礎講座」を修了し、更に「専修講座」のうちの2コースを修了すると卒業となります。一般の学校と異なり、卒業しても再度受講もできます。

「特別講座」は、まちづくり学校の卒業生を対象とした講座です。19年度は、まず、卒業生による「地域活動報告会」を実施し、それぞれの課題や工夫を発表しました。その後「交流会」を開き、活動報告で出されたテーマを基に、「ワールドカフェ」*形式のグループ討議を行いました。また今回は特別に、専修講座の受講生にも参加を募りました。

*「ワールドカフェ」…ワークショップの展開手法の一つ。数人一組で複数のテーブルに分かれて座って議論した後、テーブルメンバーを何人か入れ替えて再度議論。以後も移動・議論・移動・議論を繰り返し、全テーブルを一巡して全員がみんなの意見や情報を共有する討議形式。

3回の繰り返しの後、参加者がもとのテーブルに戻っ

たとき、皆が皆、晴れやかな顔で「ただいま」「お帰りなさい」と朗らかに言葉が交されていました。交流は十分に図られたことでしょう。

19年度まちづくり学校の参加者数

・基礎講座

内 容	修了者/参加者
神戸のまちの歴史/神戸の安全な都市づくり/神戸のまちづくり・ルールづくり/防犯から見たまちづくり/これからの神戸の地域活動	64名/76名

・専修講座

コース名	修了者/参加者
A:「ちえぶくろ」の活用講座	19名/22名
B:「安全で安心なまちをつくる」 防災コース	47名/55名
C:「安全で安心なまちをつくる」 防犯コース	40名/47名
D:「安全で安心なまちをつくる」 コミュニティづくりコース	13名/15名
E: まちなみゼミ	21名/30名
F: まちづくり実践ゼミ	23名/38名
G: まち歩き実践ゼミ	29名/51名
H: まちに刻まれた土木を訪ねる	22名/35名

・特別講座

テーマ	報告会/交流会
卒業生の活動報告会&交流会	41名/21名

◆まちづくり会館・研究ネットワーク

同ネットワークは、こうべまちづくり会館の調査研究機能の一環として、多分野にまたがる研究グループ*の参加をもって15年に発足しました。その後も研究グループは活動を継続し、今も多くが会館を定例会場として利用しています。

* 参加グループ

再開発研究会/神戸コンパクトシティ研究会/西神ニュータウン研究会/ワークショップ研究会/まちづくり法制研究会/Students Partnership Network/地域経済復興研究会(阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク)/水谷ゼミナール/台湾まちづくり研究会/プランナーズネットワーク神戸/空間像研究会/まちづくりアーカイブズ研究会/住宅再建・被災地復興システム研究会/マンション復興戦略研究会/神戸防災技術者の会(K-TEC)/都市基盤整備研究会/NPO法人都市災害に備える技術者の会/いきいき下町まちづくり調査部会

例えば19年度は、K-TECが神戸学院大学で防災・社会貢献ユニットの講義を担当する傍ら、

「伝承 阪神・淡路大震災 ~われわれが学んだこと~」を出版。さらに今年2月にはJICAと協力して海外留学生と交流会を開催。震災時の教訓を海外へも発信するなどの国際的な社会貢献活動を行っています。

◆神戸の地盤データベースの運用

神戸市内の地盤のデータベース:「神戸 JIBANKUN」の維持管理を、同運営委員会事務局として行っており、当館でポーリングデータ7000本分の情報も一般公開しています。

まちづくり会館をご利用ください

まちづくり会館は、住民主体のまちづくりを進める拠点施設として、まちづくり学校等のまちづくりに関する事業を行うとともに、地域でまちづくりに携わる方々の身近な施設として、図書や行政資料の閲覧(4階図書室)や、まちづくりの相談などにご利用いただいています。

なお当館には、会議室、ホールやギャラリーがあり一般の方々、美術愛好家の方々にご利用をいただくとともに、ギャラリーでは、年に数回、当館の企画展も開催しており、19年度は8月に神戸ピエンナーレ2007協賛事業として「神戸・まちかどの光陰~米田定蔵・とみさわかよの二人展~」を、11月に「鈴木城絵画立体作品展-昭和の神戸市電と仲間たち」を開催し、ご好評をいただきました。



また会館1階のオープンギャラリーは、市政に関するリーフレットの配布、紹介等の広報活動や、随時まちづくり関係の展示等も行っています。

19年度の来館者は約11万9千人でした。

「神戸らしい眺望景観 10選を訪ねて」「保久良神社からの眺め」

保久良神社は金鳥山の中腹にあります。阪急岡本駅を出て東側の踏み切りを渡り、住宅地を抜けて保久良神社の参道に入ります。参道を登るのは結構大変ですが、木立の間から徐々に海への眺望が開けていきます。保久良神社社殿手前に古くから「灘の一つ火」とよばれる灯台（石灯籠）があり、ここが視点場になっています。ここからは、市街地や六甲アイランドなどの埋立地が望め、向こうに大阪湾が広がっています。

近くには保久良梅林があり、猪の親子が迎えてくれることもあります。北は六甲山に向かう登山道が続き、市街地に戻ると、梅林がある岡本公園や桜守で有名な岡本南公園を訪ねることができます。（都市計画総局計画部景観室）



まちづくりコンサルタント報告会

こうべまちづくり会館の事業の一つとして、まちづくり協議会等にアドバイザーやコンサルタントの派遣を行っています。今回、各地域のまちづくりを支援しているコンサルタントによる「まちづくりや建物共同化」などの活動状況の報告会を行います。

地域でまちづくりを行っておられる方、興味のある方にとっては、参考になることも多いと思います。参加を希望される方は、会館までお申込みください（電話361-4523、締切り5月8日）。

日 時 平成20年5月15日（木）午後1時～6時

場 所 こうべまちづくり会館 2階ホール

定 員 80名（申込み多数の場合は抽選となります。）

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主催者
4月10日(木)～29日(火)	第9回神戸まちなみ緑花コンクール 入賞作品パネル展	財神戸市公園緑化協会 花と緑のまち推進センター
5月 1日(木)～31日(土)	利用促進PR神戸空港ポスター等	みなと総局空港事業室誘致課

地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主催者
4月25日(金)～29日(火)	万円額装飾 坂本宣子&生徒作品展	坂本宣子
5月 1日(木)～ 6日(火)	元町の芸術家たち展Ⅵ《絵画・写真ほか》	神戸元町商店街連合会
5月 8日(木)～13日(火)	木彩会洋画作品展《油彩・水彩・パステル画》	木彩会
5月15日(木)～20日(火)	丹水会展《水彩》	丹水会
5月22日(木)～27日(火)	第19回神戸パステル画会展	神戸パステル画会

展示時間：1階、地階いずれも午前10時～午後6時（水曜日休館） ※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



最寄駅

地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から1分
 高速 花隈駅東口から3分 西元町東口から5分
 JR・阪神 元町駅西口から8分

こうべまちづくり会館
 〒650-0022
 神戸市中央区元町通4丁目2番14号
 開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）
 電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546
 ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）
 自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談
 電話・FAX：078-361-4565
 受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）
 ただし、印刷は5時まで